

54

千代田区景観まちづくり重要物件

鎌倉橋

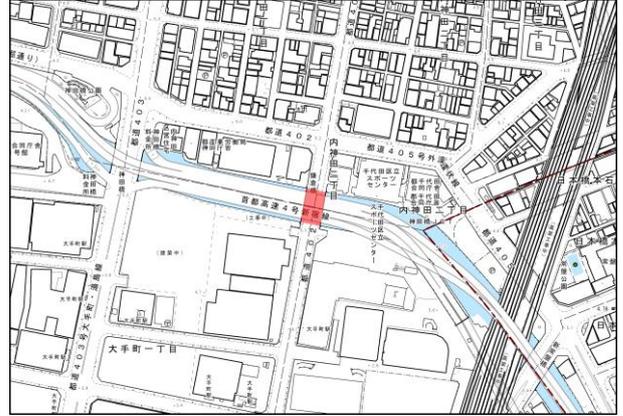
指定日 2007(平成 19)年 3 月 28 日

所在地 大手町一丁目 9 番,二丁目 3 番先~内神田一丁目 1 番,二丁目 1 番先(日本橋川)

設計者 -

竣工 1929 (昭和 4) 年

文化財等
指定状況 -



▲鎌倉橋全景

歴史・文化的特徴

震災復興橋梁として昭和4年に新たに架けられた橋梁です。

江戸時代に鎌倉から届いた石材の荷揚げに使われたため鎌倉河岸といわれた一帯の由来を橋名にとどめています。

意匠・構造の特徴

簡素ですが石造風の高欄とアーチをもつ印象的なデザインとなっています。

石造風の袖柱を持ち、橋詰に小さな植栽帯を備えています。

歩道の路面はタイル貼りに改装されています。



▲鎌倉橋の親柱



▲特徴的な高欄とタイル貼りの歩道

周辺景観との関係

橋上からは、首都高速道路の高架が視界を遮るため、圧迫感のある景観になっています。

橋梁からは護岸石積が見えますが、日本橋川が屈曲していて眺望はあまり開けてはいません。

周辺道路からは橋梁を見ることができますが、圧迫感のある景観になっています。

水面からは橋梁の印象的なアーチや橋台をきれいに見ることができます。

ただし上流側に NTT 専用橋が併設されていて、水面からも橋の側面はよく見えません。